皮膚リンパ腫全国症例数調査の結果（2022年版）

日本皮膚悪性腫瘍学会
COI開示
藤井一恭
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

藤井一恭[1,5]、島内隆寿[2,5]、浅井純[3,5]、藤澤康弘[4,5]、加藤則人[3,5]

1: 鹿児島大学、2: 浜松医科大学、3: 愛媛大学、4: 京都府立医科大学

５：皮膚がん予後統計委員会

結果１:新規診断症例登録数

	Total No.	Total %	Neoplasm category	Male No.	Female No.	M/F	Age Median	Age Average±sd	Age Range
Total	**500**		**%**	**284**	**216**	**1.31**	**71**	**66.7 ± 16.7**	**97 - 14**
T細胞/NK細胞リンパ腫	**412**	**82.4**	**100**	**230**	**182**	**1.26**	**69**	**65.3 ± 16.8**	**97 - 14**
菌状息肉症	252	50.4	61.2	142	110	1.29	68	64.9 ± 16.3	93 - 14
セザリー症候群	8	1.6	1.9	5	3	1.67	80	70.0 ± 17.5	83 - 33
原発性皮膚CD30陽性リンパ増殖症	50	10.0	12.1	30	20	1.50	62.5	63.2 ± 16.3	94 - 22
原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫	34	6.8	8.3	24	10	2.40	63	66.3 ± 15.8	94 - 38
リンパ腫様丘疹症	16	3.2	3.9	6	10	0.60	62.5	56.4 ± 15.2	78 - 22
成人T細胞白血病/リンパ腫（くすぶり型のみ）	27	5.4	6.6	13	14	0.93	74	73.6 ± 9.0	91 - 57
種痘様水疱症様リンパ増殖症	0	0.0	0.0	0	0	–	–	– –	– –
節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型	18	3.6	4.4	13	5	2.60	70	67.8 ± 14.8	90 - 27
皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫	3	0.6	0.7	1	2	0.50	22	36.7 ± 25.8	73 - 15
原発性皮膚γδT細胞リンパ腫	0	0.0	0.0	0	0	–	–	– –	– –
皮膚原発 CD8 陽性劇症表皮向性細胞傷害性T細胞リンパ腫	2	0.4	0.5	0	2	0.00	79	79.0 ± 13.0	92 - 66
原発性皮膚末端性CD8陽性T細胞リンパ腫	1	0.2	0.2	0	1	0.00	62	– –	– –
原発性皮膚CD4陽性小・中T細胞リンパ増殖異常症	8	1.6	1.9	4	4	1.00	67	62.3 ± 17.9	83 - 34
末梢性T細胞リンパ腫、非特定（皮膚原発）	43	8.6	10.4	22	21	1.05	67	64.7 ± 19.7	97 - 20
B細胞リンパ腫	**79**	**15.8**	**100**	**46**	**33**	**1.39**	**77**	**74.2 ± 13.6**	**93 - 26**
粘膜関連リンパ組織の節外性辺縁帯リンパ腫	18	3.6	22.8	11	7	1.57	69.5	65.2 ± 16.4	91 - 26
原発性皮膚濾胞中心リンパ腫	13	2.6	16.5	8	5	1.60	72	69.8 ± 11.4	87 - 46
原発性皮膚びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、下肢型	35	7.0	44.3	19	16	1.19	82	80.5 ± 10.5	93 - 32
EBウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍	2	0.4	2.5	1	1	1.00	68	68.0 ± 8.0	76 - 60
その他の皮膚B細胞リンパ腫	11	2.2	13.9	7	4	1.75	74.0	75.5 ± 9.1	91 - 60
芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍	**9**	**1.8**		**8**	**1**	**8.00**	**73**	**65.4 ± 21.2**	**91 - 17**

結果２:全症例登録数

	Total No.	Total %	Neoplasm category	Male No.	Female No.	M/F	Age Median	Age Average±sd	Age Range
Total	**2486**		**%**	**1351**	**1135**	**1.19**	**70**	**66.3 ± 16.1**	**98 - 5**
T細胞/NK細胞リンパ腫	**2246**	**90.3**	**100**	**1209**	**1037**	**1.17**	**69**	**65.6 ± 16.1**	**97 - 5**
菌状息肉症	1640	66.0	73.0	886	754	1.18	70	66.2 ± 15.5	97 - 9
セザリー症候群	38	1.5	1.7	26	12	2.17	70.5	67.5 ± 15.5	87 - 32
原発性皮膚CD30陽性リンパ増殖症	267	10.7	11.9	138	129	1.07	63	61.0 ± 17.9	94 - 5
原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫	165	6.6	7.3	93	72	1.29	66	64.4 ± 16.5	94 - 14
リンパ腫様丘疹症	102	4.1	4.1	45	57	0.79	56	55.6 ± 18.7	90 - 5
成人T細胞白血病/リンパ腫（くすぶり型のみ）	115	4.6	5.1	53	62	0.85	73	72.2 ± 9.9	93 - 45
種痘様水疱症様リンパ増殖症	2	0.1	0.1	1	1	1.00	43.5	43.5 ± 26.5	70 - 17
節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型	28	1.1	1.2	19	9	2.11	69.5	64.7 ± 19.6	90 - 7
皮下脂肪織炎様T細胞リンパ腫	22	0.9	1.0	7	15	0.47	50	49.5 ± 21.1	82 - 15
原発性皮膚γδT細胞リンパ腫	2	0.1	0.1	0	2	0.00	74	74.0 ± 7.0	81 - 67
皮膚原発 CD8 陽性劇症表皮向性細胞傷害性T細胞リンパ腫	3	0.1	0.1	1	2	0.50	82	80.0 ± 10.7	92 - 66
原発性皮膚末端性CD8陽性T細胞リンパ腫	2	0.1	0.1	1	1	1.00	68.5	68.5 ± 6.5	75 - 62
原発性皮膚CD4陽性小・中T細胞リンパ増殖異常症	22	0.9	1.0	10	12	0.83	61.5	57.9 ± 19.9	83 - 12
末梢性T細胞リンパ腫、非特定（皮膚原発）	105	4.2	4.7	67	38	1.76	71	65.6 ± 18.7	97 - 15
B細胞リンパ腫	**228**	**9.2**	**100**	**132**	**96**	**1.38**	**75**	**72.7 ± 14.3**	**98 - 21**
粘膜関連リンパ組織の節外性辺縁帯リンパ腫	81	3.3	35.5	43	38	1.13	66	65.1 ± 15.6	91 - 21
原発性皮膚濾胞中心リンパ腫	54	2.2	23.7	39	15	2.60	73	74.1 ± 11.7	98 - 41
原発性皮膚びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、下肢型	71	2.9	31.1	37	34	1.09	82	80.1 ± 10.8	97 - 32
EBウイルス陽性粘膜皮膚潰瘍	4	0.2	1.8	2	2	1.00	68	65.8 ± 13.8	91 - 60
その他の皮膚B細胞リンパ腫	18	0.7	7.9	11	7	1.57	75	74.9 ± 8.1	91 - 60
芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍	**12**	**0.5**		**10**	**2**	**5.00**	**74.5**	**68.4 ± 19.1**	**91 - 17**

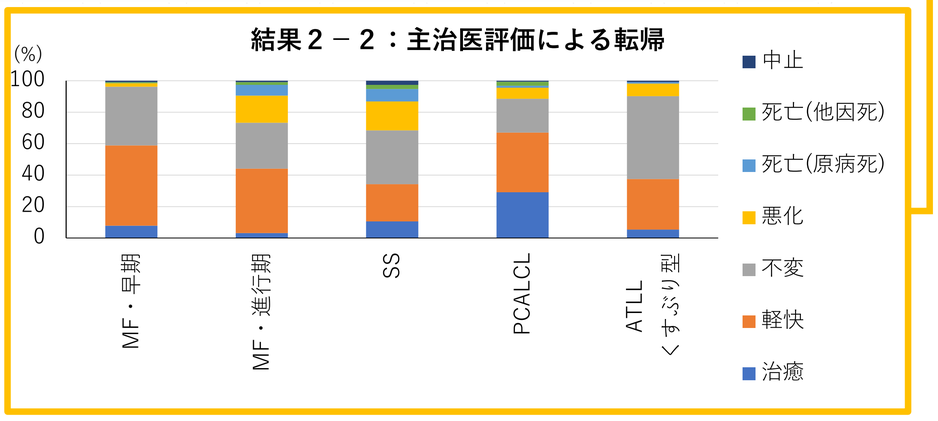
結果３:続発性皮膚リンパ腫登録数

	新規診断症例 No.	新規診断症例 %	Male/Female No.		M/F	全診療症例 No.	全診療症例 %	Male/Female No.		M/F
合計	**215**	**100**	**111 /**	**104**	**1.07**	**406**	**100**	**225 /**	**181**	**1.24**
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	72	33.5	36	36	1.00	113	27.8	62	51	1.22
粘膜関連リンパ組織の節外性辺縁帯リンパ腫（皮膚外原発）	3	1.4	2	1	2.00	9	2.2	5	4	1.25
濾胞リンパ腫	13	6.0	5	8	0.63	18	4.4	8	10	0.80
マントル細胞リンパ腫	2	0.9	1	1	1.00	2	0.5	1	1	1.00
形質芽細胞リンパ腫	1	0.5	1	0	–	2	0.5	2	0	–
血管内リンパ腫	43	20.0	23	20	1.15	47	11.6	26	21	1.24
成人T細胞白血病/リンパ腫（くすぶり型以外）	36	16.7	17	19	0.89	96	23.6	56	40	1.40
血管免疫芽球性T細胞リンパ腫	6	2.8	3	3	1.00	11	2.7	7	4	1.75
ALK陽性未分化大細胞リンパ腫	4	1.9	1	3	0.33	5	1.2	1	4	0.25
ALK陰性未分化大細胞リンパ腫	8	3.7	6	2	3.00	24	5.9	16	8	2.00
末梢性T細胞リンパ腫、非特定（皮膚外原発）	5	2.3	3	2	1.50	14	3.4	6	8	0.75
ホジキンリンパ腫	1	0.5	1	0	–	4	1.0	3	1	3.00
その他の医原性免疫抑制関連リンパ増殖性疾患	7	3.3	5	2	2.50	18	4.4	8	10	0.80
移植後リンパ増殖性疾患	0	0.0	0	0	–	0	0.0	0	0	–
ランゲルハンス細胞組織球症	2	0.9	0	2	0.00	13	3.2	4	9	0.44
その他	12	5.6	7	5	1.40	30	7.4	20	10	2.00

結果３:続発性皮膚リンパ腫に関して

1. 続発性皮膚リンパ腫に関しては新規診断症例として215例、全診療症例として406例の登録があった。
2. 新規診断症例として最も多かったのはびまん性大細胞型B細胞リンパ腫で72例(33.5%)、次いで血管内リンパ腫43例(20.0%)、成人T細胞白血病/リンパ腫（くすぶり型以外）36例(16.7%)であった。
3. 全診療症例では成人T細胞白血病/リンパ腫の占める割合が増えている(36例(16.7%)→96例(23.6%)).

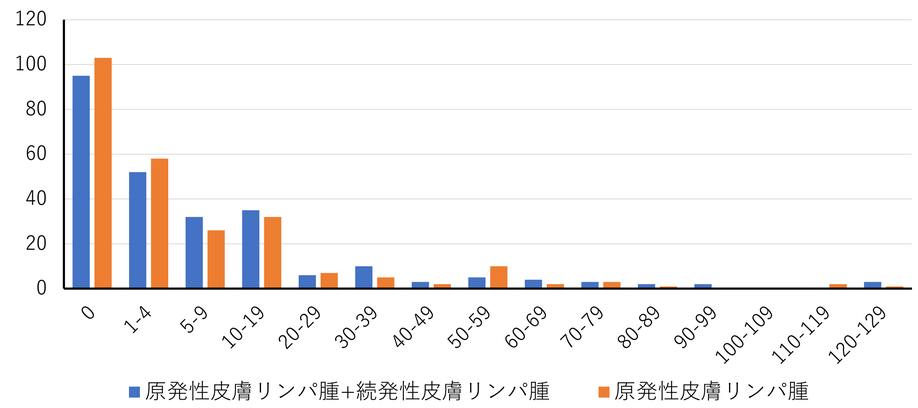
結果２－２：主治医評価による転帰



方法

1. 日本皮膚科学会教育研修施設（2022年は643施設）に2022年に受診した皮膚リンパ腫症例に関するアンケート調査への協力を依頼した。
2. 252施設（39.2%）から回答を得た（症例登録あり：157施設、症例登録なし95施設）。
3. 約4割の施設が症例登録なし（症例数0）で、1年間で10例未満の施設で7割強を占めていた（図１）。
4. 一方で100例を超える症例を診療している施設も3施設あり、最も多数の症例を診療している施設は原発性皮膚リンパ腫と続発性皮膚リンパ腫を併せて127例の症例を診療していた。

図１：各施設ごとの症例登録数



結果１：新規診断症例に関して

1. 2022年新規診断症例として715例の登録があった。そのうち原発性皮膚リンパ腫は500例、続発性皮膚リンパ腫は215例であった。
2. 原発性皮膚リンパ腫全体では男女比が1.3と男性に多く、診断時の年齢の中央値は71歳、平均値は66.7歳で、これは昨年と比べると若干高齢であった。
3. T/NK細胞リンパ腫が82.4%、B細胞リンパ腫が15.8%、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍が1.8%で、これは例年とほぼ同様であった。
4. T/NK細胞腫瘍の中では発症頻度が高い順に、菌状息肉症(MF)61.2%、原発性皮膚CD30陽性リンパ増殖症12.1%（原発性皮膚未分化大細胞リンパ腫(PCALCL)8.3%、リンパ腫様丘疹症3.9%）、末梢性T細胞リンパ腫、非特定（皮膚原発）10.4%、成人T細胞白血病/リンパ腫(ATLL)（くすぶり型のみ）6.6%、節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型4.4%であった。
5. MF/セザリー症候群(SS)の病期別登録数を結果１－１に示す。IB期の症例で約半数（45.4%）を占め、早期（IA期-IIA期）の症例で73.5%を占めた。早期の症例では性差は認めなかったが、進行期では男性の占める割合が2.8倍と多くなっていた。
6. MF/SSの患者のうち、7例でデュピルマブの投与歴があった（SSでは9例中3例）。
7. B細胞リンパ腫では原発性皮膚びまん性大細胞型B細胞リンパ腫が最も多く44.3%を占めた。

結果1-1:菌状息肉症/セザリー症候群の病期ごとの症例のまとめ

Stage	IA	IB	IIA	IIB	IIIA	IIIB	IVA1	IVA2	IVB	IA-IIA	IIB-IVB
Number	70	118	3	34	18	—	7	5	5	191	69
Male	34	61	1	24	16	—	4	4	3	96	51
Female	36	57	2	10	2	—	3	1	2	95	18
M/F	0.9	1.1	0.5	2.4	8	—	1.3	4	1.5	1.0	2.8
Age median	63	69	73	65.5	76	—	80	71	67	66	72
Age average	62.2	64.9	73.7	63.3	77.1	—	68.7	67.4	64.0	64.0	67.8
Age SD	15.0	17.4	15.5	16.1	7.5	—	18.1	9.9	17.6	16.6	15.4

結果2-1：菌状息肉症/セザリー症候群の全診療症例のまとめ

Stage	IA-IIA	IIB-IVB
Number	1284	356
Male	661	225
Female	623	131
M/F	1.1	1.7
Age median	70	70
Age average	66.2	66.2
Age SD	15.6	14.8

結果２：全診療症例に関して

1. 2022年に皮膚科を受診したリンパ腫患者として登録された全症例は2892例で、そのうち2486例が原発性皮膚リンパ腫、406例が続発性皮膚リンパ腫であった。
2. 原発性皮膚リンパ腫では新規診断症例（結果１）と比べてMFの割合が増えており（50.4%→66.0%）相対的にB細胞リンパ腫の割合が減っている。
3. MF/SSでは早期の患者の占める割合が新規診断症例と比べて増えている（73.5%→78.3%）。進行期における男性の占める割合は新規診断症例よりは差が少ない（結果２－１）。
4. MFは早期では軽快以上の転帰が59%、不変を含めると96%を占めるが、進行期ではそれぞれ44%、73%と悪化する。PCALCLは67%の症例は軽快、治癒するが、10%の患者は進行する。ATLLはくすぶり型でも軽快するのは4割に満たない（結果２－２）。
5. B細胞リンパ腫の中では原発性皮膚びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、下肢型の占める割合が新規診断症例と比べて減っている（44.3%→31.1%）。

謝辞

本研究は下記のご施設の先生方にご協力を頂きました（敬称略）。

ここに御礼申し上げます。

本研究は2023年以降も継続いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

なお、本調査は日本皮膚科学会専門医の新専門医制度のアンケートの単位として認められております。

旭川医科大学病院	豊原基史	市立千歳市民病院	大田光仁	長浜赤十字病院	川端紀子
弘前大学医学部附属病院	八戸大樹	砂川市立病院	鎌田麻子	一般財団法人住友病院	庄田裕紀子
岩手医科大学附属病院	福井玲子	市立釧路病院	中村裕之	公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	山上徳郎
東北大学病院	玉渕恵里佳	青森県立中央病院	原田 研	関西労災病院	松本千穂
秋田大学医学部附属病院	重島あや	八戸市立市民病院	村井孝弥	高槻赤十字病院	島本純子
山形大学医学部附属病院	胡野陽之	弘前市立病院	芳賀豊裕	松下記念病院	森島隆一
筑波大学附属病院	石井翔一郎	大崎市民病院	古屋時彦	独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター	立花陽太
自治医科大学附属病院	岡田真文	福島赤十字病院	元木良和	社会医療法人厚南医療福祉センター 阪南中央病院	佐藤雄二
群馬大学医学部附属病院	浜内弥生	永戸市赤十字病院	小林桂子	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター	片岡葉子
千葉大学医学部附属病院	松澤亮光	JAとりで総合医療センター	石川貴裕	一般財団法人住友病院	夏見亜由
慶應義塾大学病院	松延 建	前橋赤十字病院	菅牧部陽子	社会医療法人 生長会 府中病院	綾野悠加
順天堂大学医学部附属浦安病院	金子高英	伊勢崎市民病院	長谷川遼子	岸和田徳洲会病院	駒村公美
昭和大学病院	加藤由佑	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	根岸 美	独立行政法人労働者健康安全機構 神戸労災病院	笠山泰子
帝京大学医学部附属病院	林 耕太郎	熊谷市立熊谷総合病院	岡田克之	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院	村田直子
東京医科大学病院	前 賢一郎	草加市立病院	村野隆明	地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター	鷲尾 健
東京女子医科大学附属足立医療センター	石崎純子	東京歯科大学市川総合病院	河野通良	神戸医療センター	竹内聖二
東京大学医学部附属病院	坊木ひかり	帝京大学ちば総合医療センター	佐藤友隆	医療法人明和病院	黒川一郎
慶邦大学医療センター大橋病院	岩山史朗	国家公務員共済組合連合会九段病院	谷口裕子	聖隷クリストファー大学	山本哲久
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	中田病宏	北里大学北里研究所病院	芸井弘子	独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター	福田 均
昭和大学藤が丘病院	村上道子	医療法人社団大坪会 東都文京病院	池 亨仁	医療法人仙島会 赤穂中央病院	鳥越利加子
聖マリアンナ医科大学病院	宮垣朝光	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立広尾病院	岩澤うつぎ	日本赤十字社和歌山医療センター	辻岡 馨
東海大学医学部付属病院	清水知雄	日本赤十字社医療センター	今門純久	独立行政法人国立病院機構 高知医療センター	関 宏美
横浜市立大学附属病院	石川秀幸	済生会中央病院	大野祐樹	公立那賀病院	米井 希
新潟大学医歯学総合病院	林 良太	公立学校共済組合 関東中央病院	塩 慎司	和江市立病院	新石健二
富山大学附属病院	古川史朗	社会福祉法人聖母会 聖母病院	小林里実	川崎医科大学総合医療センター	清土徳介
金沢医科大学病院	亀谷味彩子	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター	鳥居秀嗣	高知赤十字病院	吉重潤美
金沢大学附属病院	大石京介	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	福井良二	岡山市立市民病院	岡崎布佐子
福井大学医学部附属病院	尾山徳孝	公益財団法人東京都保健福祉事業団総合健康センター	向井美穂	岡山赤十字病院	丸井聖子
山梨大学医学部附属病院	武藤保典	社会医療法人社団健和会 北川総合病院	尾立生樹	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	西江昌平
信州大学医学部附属病院	代田吉保	白野市立病院	平田信子	総合病院河北郡市民病院	木村愛恵
浜松医科大学病院	島内隆寿	町田市民病院	真志有紗	広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院	木村由紀
愛知医科大学病院	渡辺 隆	日本医科大学多摩永山病院	長田真一	広島市立広島市民病院	加持達弥
名古屋市立大学病院	坂井田英彦	川崎市立川崎病院	西本亮平	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院	梅澤哲文
藤田医科大学病院	伊藤裕幸	労働者健康安全機構 関東労災病院	足立 真	独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院	中野純二
滋賀医科大学医学部附属病院	杉浦潤嗣	帝京大学医学部附属溝口病院	渡辺穂子	高松赤十字病院	眞部恵子
京都大学医学部附属病院	小亀敏明	昭和大学横浜市北部病院	境井尚大	愛媛県立中央病院	石立吉弘
京都府立医科大学附属病院	中江 真	独立行政法人国立病院機構 相模原病院	大石東子	一般社団法人 福岡県社会保険医療協会 社会保険福岡病院	三村 研
大阪大学医学部附属病院	清原英司	横浜市立みなと赤十字病院	渡邊 憲	独立行政法人 労働者健康安全機構 九州労災病院	吉岡 宇
近畿大学医学部附属病院	中嶋千紗	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター	馬場直子	北九州市立医療センター	仲本子みれ
神戸大学医学部附属病院	小野竜輔	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	河野克之	医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院	黒木りえ
兵庫医科大学病院	井上裕香子	公益財団法人 地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	大川聖子	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院	田部健文
奈良県立医科大学附属病院	小川浩平	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	浪速亮子	地方独立行政法人 長崎市立病院機構 長崎みなとメディカルセンター	東 江里夏
鳥取大学医学部附属病院	山崎 修	平塚市民病院	栗原佑一	日本赤十字社長崎原爆病院	筑輪哲生
岡山大学病院	平井陽宏	新潟医療生活協同組合木戸病院	平井一浩	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター	村山貴也
川崎医科大学病院	田中 了	新潟市民病院	畠山勝博	熊本赤十字病院	前田愛一郎
広島大学病院	亀頭晶子	新潟県立がんセンター新潟病院	竹之内辰也	大分市医師会立アルメイダ病院	岡本伸
山口大学医学部附属病院	杉本紘子	国民健康保険 小松市民病院	小林忠弘	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	米田大介
香川大学医学部附属病院	岩田昌史	公立能登総合病院	藤井勉	公立阿伎留医療センター	新田利子
高知大学医学部附属病院	中島英樹	伊那中央病院	福澤正男	東京都立小児総合医療センター	望月加江子
九州大学病院	中原真希子	岐阜市民病院	加納宏行	相川赤十字病院	木ノ内基史
久留米大学病院	武藤一考	岐阜県立多治見病院	柴田春貴	学校法人国際医療福祉大学 国際医療福祉大学病院	大塚 勲
産業医科大学病院	岡田悠子	浜津市立病院	藤 まき	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	堀 玲子
福岡大学病院	古賀文二	静岡県立静岡がんセンター	長谷川慶男	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	末倉健太郎
佐賀大学医学部附属病院	西嶋平	静岡県立静岡がんセンター	吉川周佑	労働者健康安全機構 山陰労災病院	三島エリカ
長崎大学病院	中島眞帆	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院	大場 操	地方独立行政法人 山口県立病院機構 山口県立総合医療センター	山田隆弘
大分大学医学部附属病院	山本朋子	聖隷市立総合病院	石川優入	社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院	坂口裕代
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	藤井一恭	豊川市民病院	西尾栄一	社会医療法人友愛会 鷹見城中央病院	安村 浩
琉球大学病院	新井 達	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	清水 真	医療法人啓信会 京都きづり病院	西山暁穂
独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	稲沖 真	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	岩井敦子	医療法人育和会育和会記念病院	朱田幸子
NTT東日本関東病院	出月健太	独立行政法人労働者健康安全機構 浜名湖医療センター	神原代幸	医療法人社団 東北会 戸田中央総合病院	村松正法
自治医科大学附属さいたま医療センター	梅本尚可	松阪市民病院	杉本恭子	藤沢湘南台病院	磯田和士
東邦大学医療センター 佐倉病院	三津山信治	日本赤十字社 大津赤十字病院	笹嶋真紀子	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター	杉山由華
社会福祉法人恩賜財団 済生会中央病院	福田明子	社会医療法人誠光会 淡路医療センター	寺村和也	地方独立行政法人 新百合ヶ丘総合病院	飯島正文
福岡赤十字病院	馬場由香				
社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 新潟県済生会 済生会新潟病院	横本 剛				
明和立総合医療センター	田中 文				
地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院	山田隆三				
富士宮市立病院	中澤徳介				
国立療養所 東美和光園	高福主ゆみ				
香川県立中央病院	森下佳子				
社会医療法人同心会 古賀総合病院	津守伸一郎				
社会医療法人 泉和会 千代田病院	小田裕次郎				
三田市民病院	小阪博志				
川崎市立井田病院	安西秀美				
医療法人社団緑成会 横浜総合病院	鈴木 環				
大分健生病院	荒川晶子				
公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属永寿総合病院	松田直子				
新潟県厚生連 新潟医療センター	松山麻子				
地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院	工藤恭子				
土佐市立土佐市民病院	廣瀬藤昭				
新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院	藤原 浩				
独立行政法人国立病院機構 鹿児島医療センター	松下茂人				
つがる西北五広域連合 つがる総合病院	八戸大樹				
独立行政法人国立病院機構 青森病院	横山祥子				
A型肝炎厚生海南病院	小田隆太				
春日井市民病院	古橋卓也				
医療法人 秀和会 秀和総合病院	芦村智恵子				
南松山城医療企業団 南奈良総合医療センター	岡崎愛子				
社会医療法人 友生病院	多田雄治				
独立行政法人 国立病院機構 四国病院	真鍋 公				
国立病院機構 福岡病院	西江温子				
石川県立中央病院	鶴田紀子				
春日部中央総合病院	中村哲史				
独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院	加藤 愛				
医療法人 誠仁会 手稲溪仁会病院	加瀬貴美				
和田原厚生農業協同組合連合会 大森厚生医療センター	石河亮介				
市立ひらかた病院	関根千奈子				
医療法人社団松和会 池上総合病院	石川麻友子				
医療法人 悠総会 藍野病院	窪田正昭				
一般社団法人 福岡県社会保険医療協会 社会保険福岡病院	濱崎友佳				
大阪赤十字病院	八木洋輔				
医療法人 川村会 くぼかわ病院	吉岡建夫				
京都公立病院合医療センター	石田圭司				
医療法人社団 新生会	中村智少紀				
地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	洋井和志				
荒尾市民病院	新森大佑				
医療法人 三慶会 福間病院	塚原理恵子				
国立療養所 沖縄愛楽園	照屋 強				
医療法人勝井会 香芝生喜病院	加茂隆英				
高知赤十字病院	藤岡 愛				
愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	牧井田高志				
香川赤十字病院	栗原雄一				
成田赤十字病院	栗田直二				
独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター	岩川和子				
独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	佐藤勘治				
鳴尾市立大学附属市民総合医療センター	金岡美和				
郡山市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	大塚正樹				
愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院	吉田有友子				
手ヶ崎市立病院	植子為智彦				
岩手県立前沢病院	三井英弘				
JA徳島厚生連 阿南医療センター	赤澤啓人				
国立病院機構嬉野医療センター	田中紀理子				
国際医療福祉大学 成田病院	菅谷 誠				
知多市医療センター	木村 浩				
大和高田市立病院	西川美都子				
益田赤十字病院	金子栄				